

葉山災害ボランティアネットワーク HSVN

2020 年度総会 議案書

総会 議案

第 1 号議案 2019 年度活動報告及び
同収支報告並びに会計監査報告

第 2 号議案 2020 年度活動計画(案)

第 3 号議案 2020 年度予算(案)

以上

2019 年度活動報告

2019 年度の活動は、以下の基本重点事項に沿って行なわれました。

「基本重点事項」

1. 会員のスキルアップを図り、ボランティアコーディネーター育成に努める
2. 災害VCの仕組み造りを推進する
3. 関係機関や地域の団体との連携を強化し、認識の共有を図る
4. 広報活動を通じて新会員の獲得に努める
5. 被災地支援活動を継続して行う
6. 新たに防災教育に関する取り組み(「葉山防災ラボ」)を始める

年度前半は順調に活動できましたが、年度後半は、台風の連続襲来(9 月 15 号、10 月 19 号)と新型コロナウイルス感染防止対応で、多くの行事が中止または延期に追い込まれました。

以下、活動の概容を報告します。

<具体的活動内容> (以下、ボランティアセンターを「VC」と表記。)

1. 「会員のスキルアップを図り、ボランティアコーディネーター育成に努める」について

① 災害ボランティアセンター設置運営訓練

- ・「災害VC立上げ前情報伝達訓練(メーリングリスト利用)」(11 月 18 日)。

会員 28 名が参加した。

- ・「設置運営訓練」は実施延期。

2020 年 2 月に予定していたが、新型コロナウイルス感染防止に配慮し延期。

② 葉山まちあるき

- ・「No.12:芝崎～森戸海岸通り探検」(11 月 17 日)。

会員・町内会関係者ら 24 名が参加。土砂災害警戒区域や津波被害想定区域の確認、9 月・10 月連続台風の被害体験報告などを行った。

③ 語り場

- ・元町会館で実施(9 月 15 日)。

会員・町内会関係者ら 19 名が参加。図上訓練、逃げ地図づくりを行った。

2. 「災害VCの仕組み造りを推進する」について

① マニュアル・様式の検討

- ・マニュアル本体の改定は終了(12 月)。
- ・「災害VC立上までの行動指針」を策定した(12 月)。

② 「HSVC広報委員会

- ・災害VC立上げ初期段階に、社協とHSVNそれぞれが何をするのか、認識と手順を共有した。

③ ポータルサイトの運営と充実 (H27 年 9 月開設からのアクセス総数 40,000 回)

- ・通常時サイトおよび発災時サンプルサイトの充実を図った。
- ・防災科研の要請により、サイトを新しい地域防災Web上に移行中。

<https://chiiki-bosai.jp/hp/hsvc>

3. 「関係機関や地域の団体との連携を強化し、認識の共有を図る」について

- ① 三浦半島地区地域災害ボランティアネットワーク交流会(6月・9月・2020年1月の3回)
・隣接する災害ボランティアネットワーク(葉山・逗子・横須賀・金沢区 4 地域交流会)の活動、連続台風関連の報告等を共有した。
- ② 4 地域交流会主宰「てんでんこ連絡会」活動
・金沢てんでんこプロジェクト「こども防災スクール」(3 回開催)、「ママパパぼうさい Café」(2 回開催)に参加。
- ③ KSVN(神奈川災害ボランティアネットワーク)理事として、当会から吉田見岳副代表を派遣。
情報共有に努めた。

◇KSVN各種訓練参加状況

訓練名	訓練日	当会からの参加人数
かながわ・よこはま防災ギャザリング 2019	5 月 11 日	KSVN支援スタッフとして 2 名
災害時におけるインターネット活用講座	6 月 22 日	スタッフとして 1 名
内閣府編「防災における行政のNPO・ボランティア等との連携」勉強会	6 月 25 日	3 名
情報連絡訓練	8 月 1 日～8 日	企画運営スタッフとして 1 名
台風 15 号でDITSでの情報伝達訓練	9 月 9 日	集計などスタッフとして 1 名
DITSの災害情報連絡要員養成講座	9 月 22 日	スタッフとして 1 名
台風 19 号でDITSでの情報伝達訓練	10 月 13 日	集計などスタッフとして 1 名
「防災における行政のNPO・ボランティア等との連携」研修会	12 月 3 日	2 名

◇その他各種訓練等参加状況

訓練名	訓練日	当会からの参加人数
神奈川県土砂災害防止「全国の集い」	6 月 6 日	2 名
ビッグレスキューかながわ(神奈川県・伊勢原市合同総合防災訓練)	8 月 31 日	情報交換スタッフ 1 名、活動先スタッフ 4 名参加
神奈川県コミュニティカレッジ「災害時 V 活動実践訓練」	8 月 10、24 日	スタッフとして 1 名
横須賀災害ボランティアネットワーク(YSVN)「インターネット活用講座」	8 月 17 日	スタッフとして 1 名
神奈川県職員参集訓練DITS情報発信	11 月 1 日	支援スタッフとして 1 名
神奈川県大磯町津波対策訓練「DITS情報発信訓練」	11 月 9 日	支援スタッフとして 1 名
YSVN「DITSでの街歩きと図上訓練」	12 月 14 日	スタッフとして 1 名
YSVN「浦賀中学校宿泊体験/IT活用」	1 月 18 日	スタッフとして 1 名
「震災対策技術展」横浜	2 月 6、7 日	3 名
宮城県女川町ゆめハウス八木純子さん一行を迎える会	2 月 21 日	4 名
県、KSVN、県社協、県共募共催「県災害救援 V 支援センター情報伝達訓練」	3 月 18 日	1 名

◇町内会や防災・減災に関心ある団体の要望を受け、ボランティア対応などについての出前訓練

① 牛ヶ谷戸町内会班長連絡会(11月1日)

柿本代表が「身近な災害に備える」をテーマに講演した。

4.「広報活動を通じて新会員の獲得に努める」について

① 葉山町総合防災訓練は、台風19号の襲来と重なり中止となった。

・この台風19号により開設された葉山小学校の避難所運営にHSVN会員5名が協力した。

② 浜銀バザー、まちづくり展などでパネル展示、広報資料の配布等広報活動

・まちづくり展(5月17日～19日/葉山町福祉文化会館)に出展した。

③ 会員相互の親睦

・HSVN懇親BBQ(7月13日)

会員、災害ボランティア団体関係者ら19名が参加、親睦を深めた。

④ 社協だより5月号に、春季VC設置運営訓練の紹介記事が掲載された。

5.「被災地支援活動」について

① HSVNの台風15号、19号被災地支援活動

・千葉県鋸南町災害VC支援(9月14日)

自家用車1台、2tトラック1台で5名参加。駐車場誘導、V受付、V活動後の帰着報告受付等VC本部活動の支援を行った。

・相模原市津久井災害ボランティア支援(11月9日)

貸切バス1台、2tトラック1台で20名(会員のほか高校生5名、中学生1名含む)参加。

団体で特定場所の泥だし(土嚢袋詰め)、廃棄場所への運搬(6往復)を行った。

② 他団体主催の台風15号、19号被災地支援活動にHSVNから会員が参加

・横浜市金沢区工業団地災害ボランティア(9月21～23日)に延べ5名。

・KSVN千葉県富津市ボラバス(9月29日)に1名。

・KSVN川崎市災害ボランティア(10月22、26日)に各1名。

・KSVN相模原市ボラバス(11月2日)に1名。

・KSVN千葉県富津市ボラバス(11月30日)に1名。

・KSVN栃木県佐野市ボラバス(12月8日)に1名。

・311 ネット福島県いわき市ボラバス(12月13日)に2名。

・KSVN宮城県丸森町ボラバス(2020年1月11日)に1名。

③ 古本・古Tシャツの回収と収益の被災地支援

・各種イベントの売上と募金の合計30,000円は、「中央共同募金会：災ボラ・NPO活動サポート募金」及び「千葉県共同募金会：台風15号千葉県災害義援金」として各15,000円を送金した。

④ 「復興応援屋台」での被災地製品の販売・募金活動(7月25日)

・森戸海岸海の家「FLAT」のご厚意で、店内で被災地の食品販売と募金活動を行った。

⑤ 「100万人の線香花火ナイト」の追悼行事と募金活動(8月11日)

・森戸海岸で会員、海岸来訪者ら参加約130名で実施した。

⑥ “災害支援活動準備金”の支給

・準備金より千葉県鋸南町災害VC支援に対し支給した。

6. 「葉山防災ラボ」の立ち上げについて

- ① 防災教育に関する事例研究を通じ葉山において実効性のある防災教育の在り方と実行可能性を探る研究
 - ・真名瀬子供会「防災 BooK Café&親子で楽しく防災力アップ」に 5 名参加(6 月 28 日)。
 - ・牛ヶ谷戸町内会「子供防災訓練:家庭で楽しく防災力アップ」に 1 名参加(8 月 30 日)。
- ② 研究活動を通じ随時実現可能な企画を立案し、年度内に試行
 - ・「KIDS防災CAMP(てんでんこ逗葉)」支援 (12 月 7~8 日・玉蔵院にて)。
子供 23 名大人 14 名参加。トイレ作り、夕飯作り、寝床作り、高台避難、防災ゲームなど宿泊体験訓練を実施。
 - ・教育委員会の後援で町内 4 小学校にチラシ配布。この「防災CAMP」は、tvkやNHKの取材を受けた。

7. 総務・その他の活動について

- ① 2019 年度HSVN総会 (6 月 2 日)
 - ・平成 30(2018)年度決算、2019 年度活動計画と予算、規約改正、役員改選が審議され提案通り承認された。
 - ・記念講演:すこやかいきいき協議会代表・てんでんこプロジェクト代表服部誠氏「子どもを育てることから広げる防災教育」。
- ② 運営委員会(拡大運営委員会を含む)12 回開催。
- ③ 春季VC設置運営訓練参加者にアンケート調査を行い、分析した。
- ④ 逗子災害ボランティアネットワーク総会に出席(5 月 19 日)。
- ⑤ 横須賀災害ボランティアネットワーク総会に出席(5 月 24 日)。
- ⑥ 神奈川災害ボランティアネットワーク総会に出席(6 月 11 日)。

8. 組織状況報告

◇2019 年度末 会員数 正会員 37 名 賛助会員 11 名

以上

謝辞

当会の被災地緊急支援活動は、「(株)三留モーター商会」様、「ラーメンあじ平」様、「葉山町住宅協会」様、「(有)キリタ」様からの協賛をいただいで活動しています。
ご厚意に深く感謝申し上げます。

収支報告

葉山災害ボランティアネットワーク 2019(令和元)年度収支報告書

(2019年4月1日～2020年3月31日)

科 目	2019年度 予算(¥)	2019年度 決算(¥)	摘 要
I 収入の部			
1)会費	50,000	44,000	会員44名×@1,000
2)助成金	100,000	100,000	年末たすけあい運動助成金
3)参加費	0	18,500	KIDS防災CAMP参加費@500×37名
4)寄付金	15,000	25,000	寄付金
5)繰越金	190,956	190,956	前年度より繰越し
6)預金利息	0	2	
収入合計	355,956	378,458	
II 支出の部			
1 事業費			
1)ボランティア コーディネーター 養成研修費	20,000	13,492	語り場関連費用、訓練準備諸費
2)ボランティア訓練講師謝礼	20,000	0	
3)ボランティアセンター 設置運営訓練	20,000	29,456	KIDS防災CAMP関連費用など
4)ボラバス派遣関係費	50,000	20,190	千葉県鋸南町支援フェリー代
5)支援プロジェクト関係費	15,000	21,500	近隣4地域交流会交通費など
6)広報関係印刷費	25,000	8,146	チラシ印刷代など
7)ネット広報費	0	6,900	
事業費計	150,000	99,684	
2 管理費			
1)加盟会費	13,000	13,000	KSVN会費、社協会費
2)イベント保険	2,000	672	町あるきイベント保険
管理費計	15,000	13,672	
3 事務費			
1)会議費	20,000	5,708	2019年度総会飲料菓子など
2)交通費	20,000	0	
3)通信費	15,000	14,338	往復葉書など
4)消耗品費	15,000	3,531	印刷用紙など
5)機材購入費	20,000	0	
6)雑費	15,000	0	
事務費計	105,000	23,577	
4 災害支援準備金	50,000	200,000	2020年度緊急支援活動準備金積立てへ繰り入れ
5 繰越金	35,956	41,525	2020年度へ繰り越し
支出合計	355,956	378,458	

2020年6月14日

会計監査報告書

葉山災害ボランティアネットワーク
代表 柿本 秀二 殿

会計監査 松元 美恵 印

会計監査 吉田 健太郎 印

葉山災害ボランティアネットワークの2019(令和元)年度会計監査を下記のとおり実施しましたので報告します。

記

監査実施日
2020年6月14日

監査書類
2019(令和元)年度収支会計報告書 および 関係書類監査結果、上記書類について、厳正に監査を行った結果、いずれも正確かつ適正に取り扱われていることを認めます。

以上



相模原市津久井災害ボランティア支援

【第 2 号議案】2020 年度活動計画(案)

昨秋、各地に大きな被害をもたらした台風 15 号、19 号はまだ皆様の記憶に鮮明に残っていると思います。葉山にも様々爪痕を残した台風でしたが、昨今の異常気象の頻発を見るにつけ、同様の、もしくはそれ以上の災害が葉山を直撃しても不思議ではないと心底思わされました。そして、首都圏直下型、相模湾・三浦半島活断層を震源とする地震等の可能性も指摘され続けております。

このような事態を厳しく捉え、葉山災害ボランティアネットワーク(HSVN)はこれまで以上に活動を進化させ、災害に備えた地域の＜受援力＞の向上と、お子さんからお年寄りまでひとり一人が自分で判断し行動できるよう＜自助＞のスキルアップ活動に力を注いでいきたいと思います。また、昨年暮れから全世界規模で流行している新型コロナウイルスによる『社会生活全般に対する影響』もいわば災害級と言わざるを得ない状況をもたらしています。その影響により、2 月に予定していた「災害ボランティアセンター設置運営訓練」が延期のやむなきに至ったのは誠に残念な事でありました。このような状況を踏まえつつ、今年度の活動計画を以下に提案します。

基本的には昨年度の活動を継承しながら、さらに発展させていく内容を考えておりますが、新型コロナウイルス感染予防措置の影響により、上半期の活動は抑制的にならざるを得ないと思われ

ます。特記すべきこととしては、「ビッグレスキューかながわ」が、町村開催の初のケースとして、本年 10 月 18 日葉山町を会場に行われることが予定されています。この訓練は、県が主催の大規模な総合防災訓練であり、プログラムの一つとして「災害ボランティアセンター設置運営訓練」を行う予定となっております。本会としても、この訓練には社会福祉協議会に協力しつつ取り組んでいきたいと思

＜基本重点事項＞

1. 会員のスキルアップを図り、ボランティアコーディネーター育成に努める。
2. 災害VCの仕組み造りを推進する。
3. 関係機関や地域の団体との連携を強化し、認識の共有を図る。
4. 広報活動を通じて新会員の獲得に努める。
5. 被災地支援活動を継続して行う。
6. 防災教育に関する取り組み「葉山防災ラボ」の活動を継承・発展させる。

＜具体的活動内容＞

1. 会員のスキルアップを図り、ボランティアコーディネーター育成に努める。
 - ① 「災害VC設置運営訓練」を行う(時期未定)。
 - ② 町・社協と連携して「ビッグレスキューかながわ」の「災害 VC 設置運営訓練」に参加する。
 - ③ 町歩き:危険個所の調査など、町内を隈なく知って災害に備える。
 - ④ 語り場:誰でも気軽に参加できるミニ訓練などを通じ、会員のスキルアップとともに地域との顔の見える関係を築く。
 - ⑤ ICT 学習・活用ワークショップの開催を行う。

2. 災害VCの仕組み造りを推進する

- ① 「災害ボランティアセンター設置運営マニュアル」をバージョンアップする、それに従い様式を改訂する。
- ② 「ボランティアセンター立上げまでの行動指針」を定める。
- ③ ポータルサイトの運営と充実に努める。

3. 関係機関や地域の団体との連携を強化し、認識の共有を図る

- ① 「災害VC連携会議」に参加し社協・行政・町内の他団体との連携を図る。
- ② 「三浦半島地区地域災害ボランティアネットワーク交流会」(葉山・逗子・横須賀・金沢区)に参加し広域連携に向けて関係を強化する。
- ③ KSVN(神奈川災害ボランティアネットワーク)に理事を派遣し、情報共有、各種訓練に参加する。
- ④ 町内災害ボランティア関係団体との交流を図る。

4. 広報活動を通じて新会員の獲得に努める

- ① 浜銀バザー、まちづくり展などで広報活動を行う。
- ② 懇親会で会員相互の親睦を図る。
- ③ 「社協便り」や「町広報紙」などに HSVN の活動(訓練告知など)掲載を依頼する。

5. 被災地支援活動を継続して行う

- ① 古本・古 T シャツを回収し収益を被災地支援の募金に充てる。
- ② 「復興応援屋台」での被災地製品の販売・募金活動を行う。
- ③ 「100 万人の線香花火ナイト」の追悼行事を行う。
- ④ “緊急支援活動準備金”の積み立てを続ける。また大規模災害が発生した場合には、被災地へ復旧支援ボランティアを派遣する。

6. 防災教育の取組みを発展させる

昨年立ち上がった防災教育に関する取組を、「葉山防災ラボ」と「てんでんこ逗葉」という二つの活動を両輪とし発展・拡大を図っていく

- ① 「葉山防災ラボ」は地域密着型活動で葉山町の地区ごとの地形や特色に根ざして防災をテーマにした学習・実践の場を提供
- ② 「てんでんこ逗葉」は「自分で判断して行動」という防災意識を逗子・葉山在住の子どもたちから定着するためにプログラムを提供する。

検討中のプログラム(例)

- ・防災地図作り(防災ラボ)
- ・防災キャンプ+料理教室(てんでんこ逗葉)
- ・防災遠足:横浜市民防災センター(てんでんこ逗葉)
- ・防災キャンプ:玉蔵院(てんでんこ逗葉)
- ・損保ジャパン講座:玉蔵院?(防災ラボ)

7. 事務処理の一部変更

災害支援準備金の収支を、『緊急支援活動準備金』として別会計で管理する。

以上

【第3号議案】2020年度予算案

2020年度 一般会計予算(案)

科 目	2020年度 予算(¥)	摘 要
I 収入の部		
1) 会費	48,000	会員48名×1,000円
2) 助成金	100,000	年末たすけあい運動助成金
3) 参加費	15,000	防災教育参加費@500×30
4) 寄付金	20,000	寄付金
5) 繰越金	41,525	前年度より繰越し
6) 預金利息	2	
収入合計	224,527	
II 支出の部		
1 事業費		
1) 訓練研修 準備・実施費	20,000	訓練・研修に係る諸費用
2) 訓練研修 通信・印刷費	15,000	葉書、切手、郵送代など
3) 訓練研修 講師・会場費	0	講師謝礼、会場費など
4) 訓練研修 参加・移動費	15,000	参加費、移動費など
5) 連携プロジェクト関係費	20,000	近隣や地域の防災活動 団体との連携活動費用
6) 災害支援活動派遣関係費	15,000	現地調査など関連費用
7) 防災教育活動関係費	25,000	葉山防災ラボ関連費用
8) 広報PR活動関係費	10,000	広報活動に係る費用
事業費計	120,000	
2 管理費		
1) 加盟会費	13,000	KSVN、社協
2) 保険料	2,000	イベント保険
管理費計	15,000	
3 事務費		
1) 会議費	5,000	総務関連会議費
2) 交通費	15,000	総務関連交通費
3) 通信費	10,000	総務関連通信費
4) 消耗品費	10,000	総務関連消耗費
5) 機材購入費	10,000	総務関連機材費
6) 雑費	10,000	総務関連雑費費
事務費計	60,000	
4 緊急支援活動 準備金積立て	20,000	
5 繰越金	9,527	
支出合計	224,527	

【参考】前年度予算

科 目	2019年度 予算(¥)
I 収入の部	
・会費	50,000
・助成金	100,000
・参加費	0
・寄付金	15,000
・繰越金	190,956
・預金利息	0
収入合計	355,956
II 支出の部	
1 事業費	
・ボランティアセンター設 置運営訓練	20,000
・ボランティア訓練講師 謝礼	20,000
・ボランティアコーディ ネータ養成研修費	20,000
・支援プロジェクト関係 費	15,000
・ボラバス派遣関係費	0
・防災教育研究	50,000
・広報関係印刷費	25,000
事業費計	150,000
2 管理費	
・加盟会費	13,000
・イベント保険	2,000
管理費計	15,000
3 事務費	
・会議費	20,000
・交通費	20,000
・通信費	15,000
・消耗品費	15,000
・機材購入費	20,000
・雑費	15,000
事務費計	105,000
4 災害支援準備金	50,000
5 繰越金	35,956
支出合計	355,956

2020年度 緊急支援活動準備金積立ての部 予算(案)

科 目	2020年度 予算(¥)	摘 要
I 収入の部		
1) 初年度原資	200,000	2019年度一般会計より繰り入れ
2) 一般会計より繰り入れ金	20,000	2020年度一般会計より繰り入れ
収入合計	220,000	
II 支出の部		
1) 緊急支援活動費	220,000	被災地支援活動
2) 繰越金	0	
支出合計	220,000	

◇支出部門の科目名変更について：事業内容に即した科目名表記に改めました。

◇従前科目との比較について：【参考】前年度予算欄と比較してください。

◇緊急支援活動準備金(従前科目 災害支援準備金)について

：緊急支援活動準備金積立ての部 として別会計にて管理することにします。

以上